



よ ば てんびょう
四つ葉点描

きょういくもくひょう うつく い
 教育目標 「美しく生きる」



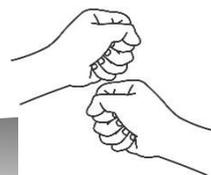
四日市市立中部中学校

令和6年10月4日

第13号

たいいくさい お かんが
 体育祭を終えたからこそ考えてほしい

しゅう だん みが いま
集団を磨くために今、できること



れいわ ねんど
 令和6年度の体育祭は、いかがでしたか。きょうぎ よてい はや しんこう せいと
 競技が予定よりも早く進行したのは、生徒のみなさんが
 じはつてき こうどう けっか おも こじんしゅもく れんしゅう せいか じゅうぶん はつき
 自発的に行動できていた結果だと思ます。個人種目では、これまでの練習の成果が十分に発揮されて
 いました。クラスやぐん だんたいきょうぎ たが おうえん あ はげ すがた すいしょ ごと
 クラスや群の団体競技では、お互いに応援し合い励まし合う姿が随所にみられ、コロナ後の体
 育祭のあた なたち み
 祭の新しい形が見えてきたように思ます。応援にきて ちいき ほごしゃ かたがた きょういくいいんかい
 援に来ていただいた地域・保護者の方々や教育委員会
 の方もたいへんよろこ
 び大變喜ばれていました。キャストとして、きも
 気持ちのいいあいさつができていたのでしょうか。

やってみたからこそ、わかったことがある

ふだんいっしょ しゅうだん ぐん あ どうそつ
 普段一緒に行動をしていない集団（これは群だけではなく、クラスにも当てはまります。）を統率するこ
 とは、おとな むずか だんだん できあ ちゅうがくせい も ちから
 とは、大人でも難しいところ。段々とチームの形が出来上がっていく姿を見て、中学生の持つ力の大きさに
 あらた かんしん ちゅうぶちゅうがっこう め ざ しりつ きょうせい そうはつ む
 改めて感心しました。中部中学校が目指す「自律」「協生」「創発」に向け、そのきっかけをつかめたのでは
 ないでしょうか？ やってみて、うまくいかなかったことこそが、つぎ
 次へとつながります。「次って、いつのこと？」そう、

まさに今ですよ。いつも言うことですが、やってみることが大事です。何もやらなければ、何も残りません。いや、不満、あきらめ、イライラが残るのかな。

集団をより良くするために、私ができること

実は、四つ葉点描第1号で、こんなことを書いています。

始業式では2・3年生に、一人一人が去年と同じままでは「より良い学校」は創れない・・・という話をしました。入学式では1年生に、「答えを教えてもらうのが勉強ではない。」と話しました。

極端なことを言えば、教室はただの大きな箱です。楽しくて居心地の良い学級が、初めから用意されているわけではありません。楽しくて居心地の良い学級を創るのは、たまたま偶然同じクラスになったみなさんです。言い方を変えれば、クラスが面白いのか、つまらないのかは、誰のせいでもなく、そのクラスのメンバー全員の行動・ふるまいが決めることになります。

➤ **集団を創る力** 集団の中で自分の力を発揮する。

集団を維持するために周囲に注意を向ける。

集団のために、できることを考えて実行する。

ヒトという生物が、集団生活を強みとして生存していく以上、『集団を創る力』は、身に付けなければならぬ力です。これを中学校3年間で、ある程度まで身に付けてほしいと思っているのです。

また、四つ葉点描第10号では、より良い学校にするための「対話」について、このように書いています。

「対話」を妨げる行為

- * 相手に対して攻撃的・反抗的な態度をとる
- * 労力を出し惜しむ、一生懸命やらない
- * ネガティブ（否定的）で文句やグチばかり言う



集団は、放っておいては維持ができません。そのうえで、より良くするには全員の努力が必要です。その集団に属したいのならば、その集団を居心地良くするために努力するのは当たり前。ましてや、「当たり前 + α 」を求めているのが中部中学校なのです。

体育祭が終わった今こそ、学級・学年・学校を高めるために、あなたは、何ができるのか。

生徒会、新学級役員、新専門委員はもちろんです。生徒全員への問いかけです。